

世界中からあやべ本社に集い 海外主幹者会議を開催。 グローバル化を加速させます



日東精工グループは昨年までの中期経営計画「Mission G-second (2023年～2025年)」、ならびに今年からの中期経営計画「Mission G-Final」(2026年～2028年)でも事業拡大戦略を掲げ、海外販売、非日系企業への拡販に重きをおいています。

昨年3月にインドのVULCAN社グループを子会社化したことで、現在、当社グループは10か国・地域に19の拠点(6か国にねじ製造工場と4拠点の産業機械販売拠点)にまで拡充してきました。まさに世界のモノづくりを支えているのです。

1月29日、京都府綾部市の当社本社において春季海外主幹者会議を開催し、各国の幹部が一堂に会して当社役員との意見交換を行いました(タイと中国はリモート参加)。春季(日本の本社)と秋季(海外子会社)の年2回開催する海外主幹者会議では、国ごとに法制度・商習慣・従業員の特性が異なることを踏まえ、それぞれの実情に合わせた実践的対応を基本としています。一方で、日東精工グループとして共有すべき基本理念、目指すべき

方向性(ベクトル)、および中長期の目標を統一することが不可欠です。本会議では、昨年の振り返りと今期の業績計画、さらには中期経営計画に沿った具体的なアクションプランを確認・共有しました。あわせて、国・市況・情勢の報告、顧客・市場・販売動向の報告、日東精工への要請事項・サポート要望、トピックスとして日本に知らせたいホットな話題について活発に意見交換を行いました。セグメントの垣根を越えた課題の共有を通じ、目指すべき方向性の統一とシナジーの追求を図ります。ボトムアップとトップダウンの双方から課題解決と成長戦略の実現を目指して、リスクを回避しつつ世界的情勢変化へ適切に対応できるよう日東精工グループとしての絆と協働を一層深めてまいります。

また、2月10日の当社取締役会で機構改革を行うことが決定され、これまでの海外事業本部をグローバル戦略本部に改名、本部長二人体制(アジア、中東エリア担当インド駐在に上原規執行役員。南北米・欧州エリア担当アメリカ駐在に坂本慎人執行役員)とし、グローバル化をより加速化させてまいります。



韓国 ①日東精工株式会社韓国支店 中国 ②日東精工科技(浙江)有限公司
③日東精工科技(浙江)有限公司広州支店 ④東莞和光汽車零配件有限公司
⑤香港和光精工有限公司 ⑥松浦屋香港有限公司 台湾 ⑦旭和螺絲工業股份有限公司 ベトナム ⑧VIETNAM WACOH CO., LTD. タイ ⑨NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD. ⑩THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.
マレーシア ⑪MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD. インドネシア ⑫PT. NITTO ALAM INDONESIA ⑬PT. NITTO ALAM INDONESIA BEKASI FACTORY ⑭PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING
インド ⑮VULCAN FORGE PRIVATE LIMITED ⑯VULCAN COLD FORGE PRIVATE LIMITED ⑰VULCAN FORGE PRIVATE LIMITED JHAJJAR FACTORY
アメリカ ⑱NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION ドイツ ⑲NITTOSEIKO ANALYTECH EUROPE GMBH

「スポーツエールカンパニー2026」を取得しました

当社は当社子会社の日東公進(株)ならびに(株)ファインとともに、本年1月30日に「スポーツエールカンパニー2026」の認定を受けました。

スポーツエールカンパニーとは、従業員の健康増進のために「スポーツの実施に向けた積極的な取り組み」を行っている企業を認定するスポーツ庁管轄の認定制度です。スポーツ競技に限らず、徒歩通勤や休み時間の体操など、従業員がスポーツを実施するきっかけづくりを企業が行うことで、従業員の健康増進につなげ、国民全体のスポーツ実施率の向上や、企業の社会的評価の向上を目指しています。

当社は6年連続認定で「ブロンズ」を取得し、そして日東公進は5年連続認定で「ブロンズ+」を、またファインは「通常プラス認定」をそれぞれ取得しました。

▶より詳しい内容や
当社健康経営についてはこちら



アビリンピックで 金賞、銅賞、努力賞受賞!

「アビリンピック (ABILYMPICS)」は、障がい者が技能労働者として社会に参加できる自信と誇りがもてるようにその職業能力の向上を図り、障がい者の職業能力に対する社会の理解と認識を深め、その雇用の促進などを図ることを目的として職業技能を競う大会です。1月31日に「第23回アビリンピック京都大会」が開催され、当社およびグループ企業の従業員6名が出場し、その内3名が金賞・銅賞・努力賞を受賞しました。「表計算」部門で金賞を受賞した当社経営企画室情報システム課の本田秀一は、本年12月に開催される全国大会に出場予定です。



「表計算」種目に参加する本田



「製品パッキング」で銅賞を受賞した制御システム事業本部製造部生産管理課の土佐拓大(左)と同種目で努力賞を受賞した産機事業本部製造部組立二課 内藤清章



▲より詳しい
内容はこちら

KGC-netオープンイノベーションで 当社環境事業を披露しました!

京都グリーンケミカルネット (KGC-net) は、「化学技術」領域での産学公連携・研究開発を強化し、環境及びエネルギー問題の解決に資するグリーン技術を確立するとともに、その成果をもとに新事業を創出し、今後の成長分野として期待されるグリーン産業の振興を進めることを目的に設立されました。会長には当社の社外取締役で、京都大学の名誉教授の平尾一之が就任しています。

2月4日に京都市産業技術研究所大ホールにおいてKGC-net主催のオープンイノベーションが開催され、当社が共同開発を進める「有機溶剤リサイクル装置」のパートナー企業・イーセップ社の澤村健一社長が「有機廃液分離システムの共同開発事例」という題で特別講演を行いました。また当社ならびに日東精工アナリテック(株)もこのオープンイノベーションに参画。ポスター展示を行ったほか、参加15社の企業

日東精工アナリテックの
ポスターと展示会場風景



のトッププレゼンターとして、当社研究開発部近藤健太郎が登壇し、制御事業の概要を説明しました。

当社の中期経営計画では4つの成長戦略として「環境」を掲げており、事業活動すべてにおける環境への対応機会として、自社のモノづくりに対する環境課題の解決はもちろんのこと、社会やお客様のESG活動を支援するための製品開発に注力してまいります。

当社制御システム事業部門が保有する「プラント製作・流体制御・防爆」技術とイーセップ社が保有する「ナノセラミック分離膜」技術という両者の強みを融合させた「防爆型有機溶剤リサイクル装置」の開発に着手し新事業を創出。右は装置イメージ図



ケーエム精工従業員が ボウリングチャンピオンに!

当社の子会社、ケーエム精工(株)の品質保証部長の井岡聖一が2025年10月にアメリカ・ネバダ州で開催されたIBF世界シニア選手権(ボウリング)日本代表として出場し、世界の強豪を相手に好成績を収めたことは既にお伝えしています。その井岡が本年2月8日、JB会長杯 第41回全日本年齢別ボウリング選手権大会(50代の部)で優勝を果たし、さらに全年代の優勝者7名による「オーバーオールチャンピオン決定戦」でも優勝する快挙を成し遂げました。

別項でも紹介しているように、2026年も日東精工はスポーツエールカンパニーにも認定されています。従業員の活躍が明るいニュースとなって、より事業活動にプラスの影響を与えていくよう、今後もグループ全体でスポーツに力を入れてまいります。

JBはJAPAN BOWLINGの略。井岡は50代の部のほか、オーバーオールチャンピオンにも



エフエム京都「α-Station」で 毎月、あやべの魅力を発信

エフエム京都「α-Station」の番組『ONE FINE DAY』では、毎月第1水曜日に「Ayabe Connects (アヤベコネクト)」というコーナーを設けています。当社が本社をおく京都府綾部市の良いところを案内していくものですが、このコーナーに毎回、当社従業員がゲスト出演し、綾部市のおすすめスポットやおいしいもの情報、イベント情報などを紹介。と同時に、もちろん、日東精工の魅力も発信しています。展示会、学会、講演会などはトップや役職者、専門の技術者などが対応することが多いですが、当社では若い世代にも、さまざまな機会を設け、自分の会社を誇りに思える、そしてそれをアピールできるチャンスを与えるようにしています。

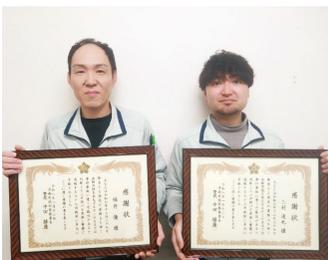
1月は人事総務部総務課の大島恋菜が出演。右はDJの寺田有美子さん。この日は『受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーン』などをご紹介します。



当社従業員が老人保護で 警察署から表彰される

当社従業員と元従業員が京都府綾部警察署長より感謝状を受けました。昨年末に元従業員の送別会が催され、その帰路に高齢者を保護したことへの表彰です。深夜、降雪のなか路上を歩く高齢男性を発見し、このままでは事件事故に遭う可能性があるかと判断し、声かけを行って警察に通報し、人命救助に貢献したものです。見て見ぬふり、なるべく関わりをもたないようになりがちなご時世にあって、人に寄り添い、社会とつながり、命を守ろうとした姿勢は、まさに当社の誇りでもあります。

感謝状を授与されたファスナー事業本部製造部特品課福井優(班長)と三好達也(向かって右)。またこの2名には2月11日、当社創立記念式典において特別功績表彰も授与



ファスナー代理店より 「購買貢献賞」受賞

部品の調達から製造・供給まで、グローバルに対応する技術商社三協グループの調達方針説明会・新春賀詞交歓会が1月23日に東京・椿山荘で開催され、その席で当社が「購買貢献賞」を受賞しました。これは新製品「アスファWP」の拡販、ならびに三協(株)販売ご担当者への製品説明会の開催などの販売活動を評価いただいたもの。

三協(株)代表取締役社長 山本亮輔様(上写真向かって左)より当社代表取締役社長 荒賀誠へ「盾」を授与されました。



アスファWP (防水ねじ)

Oリング+平座金を組み込んだ新発想の防水ねじ。位置ズレ時でも安定した「防水性能」に加え、「より高い軸力」での締結を可能にし、また振動搬送にも最適



すごい、すごい、すごい、

代表取締役社長 荒賀 誠

フイギュアスケートのりくりゅうこと三浦璃来、木原龍一ペアがミラノ五輪で金メダルを獲得しました。前日のショートプログラムでは、まさかまさかの致命的ミスで、木原選手は「もうオリンピックは終わって」と泣いてばかりだったそう。周囲が気持ちを立て直すためにさまざまに励まし、声をかけたのですが、最後の決め手は三浦選手の「今日は龍一君のために滑る」でした。この言葉に「それじゃ僕はりくのために滑る」と心にスイッチが入ったのです。自らのナチスの収容所体験を記録・分析した『夜と霧』のなかで、明日の希望がもてない過酷な状況下で、生きるモチベーションになった

のは「自分が死んだら母が悲しむ」「自分がいなくなれば傷つく人がいる」という思いだったと紹介されていますが、「他者のために」という思いが原動力になる、困難を乗り越える大きな力になることを、まさかりくりゅうペアは実証したのです。日東精工はモノづくり企業として、地域のため社会のために貢献することを経営理念にしています。金メダル級の世界一クラス・オンリーワンの技術や製品も生み出していますが、さらに精進し、りくりゅうペアの演技を実況解説した高橋成美さんの言葉のように、「すごい、すごい、すごい、すごい、すごい！宇宙一！」を目指してまいります。

「幸せ」を見つけるヒント 3月

あやべの二刀流

WBCが開幕。大谷翔平選手も出場しますが、WBCでは打者専念のようで、投打二刀流はまだ少し先のことになりそうです。二刀流といえば当社が本社をおく、あやべには二刀流の画家・有道佐一がいました。パりに遊学中、現代アートの巨匠ジャコメッティが街角で佐一の絵をたまたま目にして、一瞬にして虜になったといわれます。世界的高評価を得たのですが、帰国後は画壇との距離をおき、故郷あやべでひたすら自分の絵を極めようとした。絵も売らず、

個展も開かずなので、やがて忘れられ〈幻の画家〉となったわけですが、点描の洋画（油絵）だけでなく、日本画もたくさん残っていて、まさに二刀流の画家！没後40年以上となりますが、今再びという動きもあり3月29日まではあやべの街なか、18のお店や施設で有道佐一作品が展示されています。いわば街全体がミュージアムという他に例のない試み、あやべにお越しの折はぜひ！

日東精工代表取締役会長 材木正己
綾部商工会議所会頭

